

の～びのび

過ごせる1年になりますように！

令和7年謹賀新年
新春のごあいさつ

特集
能登半島地震から1年

Photo Report
こばやし秋まつり 2024

Photo Report
第73回こばやし駅伝競走大会

市公式 LINE 友だち募集中♪

二次元コードを読み取り、「追加」ボタンを押して登録完了です。登録後、ホームボタンから簡単な受信設定をすることで、防災情報やイベント情報などを受け取れます！



あなたにとって2024年はどんな1年でしたか？
本市に関係する1年間の出来事を振り返ります。

市民や市出身者が **活躍** した1年

10/12 市消防団として初出場
第1分団第5部が全国操法大会6位



10月12日、「全国消防操法大会」が宮城県で開催され、第1分団第5部（大坪和政部長、真方地区等）が市消防団として初出場を果たしました。出場した「ポンプ車操法の部」には全国の精鋭24隊が出場。団員は日頃の訓練の成果を披露し、見事6位入賞（優良賞2位）に輝きました。11月23日の「こばやし秋まつり」では、同団の活躍をたたえ市消防団によるパレードも行われました。

9/29 寺田匠さんが
悲願の K-1 王者に



9月29日、本市出身のプロ格闘家でこばやしPR大使も務める寺田匠選手が、東京都で開催された格闘技イベント『K-1 WORLD GP フェザー級タイトルマッチ』で見事に勝利し、悲願のK-1チャンピオンに輝きました。寺田さんは、令和5年11月にイタリアで開かれたキックボクシングの大会『ISKA 世界スーパーフェザー級』で世界王者にも輝いており、今後ますますの活躍が期待されます。



1月1日16時10分ごろ、元日の能登半島を最大震度7の大きな揺れが襲いました。姉妹都市石川県能登町では震度6弱（一部地域では6強）の揺れに見舞われ、一部では津波による大きな被害が発生したほか、町内全域で家屋の倒壊や土砂崩れが発生。市では能登町へ職員を派遣遺棄して支援したほか、経済団体などと連携して支援物資を送付。市内でも多くの義援金が集まるなど、支援の輪が広がりました。

元日に能登半島を襲った大きな地震
姉妹都市能登町でも大きな被害

始動

未来に向けて
大きく動き出した1年

9/21 健幸のまちづくり拠点施設の建設がいよいよスタート



体育館機能・健康づくり機能・子育て支援機能を備え、災害時は大規模避難所として使用できる複合型の体育館として整備される健幸のまちづくり拠点施設。9月21日には関係者や工事関係者などが参列して安全祈願祭が行われ、いよいよ建設がスタートしました。施設は令和8年3月の竣工・市への引き渡しを目指しており、現在は基礎工事の杭打ち作業を行っています。詳細は「健幸のまちづくり拠点施設整備つうしん」(24頁)をご覧ください。

11/15 日本のひなた宮崎国スポ・障スポ
小林市実行委員会を設立



11月15日、「国民スポーツ大会」、「全国障害者スポーツ大会」の宮崎県での開催が決定したことを受け、「日本のひなた宮崎国スポ・障スポ小林市実行委員会」が設立されました。宮崎県での開催は昭和54年以来48年ぶり。令和9年の開催に向けて、オール小林体制で準備を進めていきます。今後も、関連イベントを随時開催するほか、1月11日には大会1000日前イベントを開催予定です。



災害

大きな地震
に見舞われた1年



8月8日16時42分ごろ、日向灘を震源とするM7.1、最大震度6弱の地震が発生。本市でも震度5弱の大きな揺れが観測されました。気象庁は「南海トラフ地震臨時情報」を初めて発表。幸いにもその後に大きな地震は発生しませんでした。が、南海トラフ地震は100～150年の周期で発生するとされています。引き続き、自分や家族の身を守る「備え」をお願いします。

日向灘沖を震源とする大きな地震
小林市でも最大震度5弱を観測

02	2024 年を振り返る
04	令和 7 年 新春のごあいさつ
06	特集／能登半島地震から 1 年 さらに広げよう支援の輪
08	Photo Report ／こばやし秋まつり
10	Photo Report ／ 第 73 回こばやし駅伝競争大会
12	こばやし Topics
16	Pick Up Topics ／ 「KOBAYASHI デジタルの日」を開催 企業対抗ウオーキングチャレンジ結果発表
17	Pick Up Information まちづくり市民アンケート結果報告
18	おしらせ
20	くらしのカレンダー
22	教育委員会からのお知らせ／ きずな協働体通信
24	手話で話そう！／健幸のまちづくり拠点施設 整備つうしん／元気の知恵袋
25	図書館からのお知らせ／こばまち便り
26	ハッシン info ／ Instagram& 広報こばやし
27	SUKUSUKU ／心の花びら

今月の表紙

野尻小学校の収穫祭(餅つき)



表紙は、11月30日に野尻小学校で開かれた収穫祭（餅つき）の様子です。使用したもち米は、東麓地区営農組合の指導を受けて3年生が栽培・収穫したもの。子どもたちは、営農組合や保護者、地域のボランティアなどから教わりながら元気に餅つきを行い、その場でつくたての餅を笑顔で味わっていました。

令和7年 新春のごあいさつ 謹賀新年

令和9年に宮崎県での開催が決まった「日本のひなた宮崎国スポ・障スポ」まで3年を切りました。市では国スポ・障スポ推進室を設置し、また幅広い分野の団体で構成する実行委員会を設立するなど準備を加速しています。施設についても、健幸のまちづくり拠点施設に加え、カヌー競技とローイング競技を実施する小野湖の整備に着手しています。国スポ・障スポの開催は、本市の魅力を全国にPRし、地域の活性化を図る絶好の機会です。市民総参加型による「オール小林」での大会を目指し、取り組んでまいります。

本年の干支である「巳」は、「復活と再生」の象徴といわれています。これまでの取り組みが芽吹き、小林市の新たな魅力となるよう、そして、市民の皆さまが元気に笑顔で暮らせるよう、今後も対話を重ね決断する市政運営に努めてまいります。

結びに、本年も市政各般にわたりご支援・ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げますとともに、皆さまにおかれましても、素晴らしい一年となりますことをご祈念申し上げ、新年のあいさついたします。

明けましておめでとうございます。旧年中は市政各般にわたりご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年は、能登半島地震が発生し、姉妹都市である石川県能登町も甚大な被害に見舞われました。能登町へは、いち早く物的・人的支援を実施し、市民の皆さまや団体からも多くの支援が寄せられました。被災地の復旧や復興には多くの時間を要しますので、野尻町時代から続く絆をさらに深め、支援を継続してまいります。

防災につきましては、宮崎県でも日向灘で地震が発生し、南海トラフ地震臨時情報が発表されるなど、大規模地震がいつ発生するかわからない状況にあることを改めて実感しました。台風や大雨による災害も毎年発生しています。本市では、各地域で防災訓練などに積極的に取り組んでいただいておりますので、ぜひ自助、共助を含めて防災について考え、日頃の備えをお願いします。市としても、皆さまの安心安全を確保するために、危機管理体制の充実に努めてまいります。

地域経済につきましては、物価高騰が大きな影響を及ぼしていま

す。基幹産業である農畜産業においても農家の経営に打撃となっており、国や県の動向を注視し、地域の各分野の団体と緊密に連携をとり、対策に取り組んでまいります。市民の皆さまも、地域で採れたおいしい食材を積極的に消費し、魅力向上と地産地消の推進にご協力をお願いします。

市民参加型の「ハッシンコバヤシ!!」プロジェクトにおいて、「こばやしスペシャルPR大使」の蛙亭・イワクラさんや吉野北人さんに本市の魅力を発信いただきました。動画再生回数やファンによる「聖地巡礼（ロケ地巡り）」など本市への関心の高まりが効果として表れています。今後も、市外・市内両面から盛り上げるプロモーションにより関係人口を増加させ、多くの方に愛され応援されるまちづくりを目指してまいります。

「健幸のまちづくり」を総合的に推進するための健幸のまちづくり拠点施設は、令和8年3月の完成を目指して着工しました。健幸ポイント事業も参加者数が増加しており、取り組みの浸透を実感しています。今後も積極的に推進してまいりますので、皆で楽しく健康づくりをしましょう。

市民が元気で笑顔になれる

小林市を目指します。
小林市長 高原義久

能登半島地震から1年

さらに広げよう支援の輪



Photo1・2「能登半島地震」の発災直後の様子。道路、漁港、上下水道などのインフラや家屋などに大きな被害が発生 **3・4・5**「奥能登豪雨」被害の様子。地震の被害に追い打ちをかけるように道路や河川、農地などに被害が発生 **6**7月5日に復興を祈願し開催された日本遺産「あばれ祭」 **7**9月2日松波小学校仮校舎での始業式。地震で校舎が使用できず中学校校舎で授業を行っていましたが、2学期から中学校運動場に建設された仮校舎へ登校しています **8**「こばやし秋まつり」のパレードに参加した大森凡世能登町長（左から2人目）、金七祐太郎能登町議会議長（中央）、鍛冶鎌太郎能登町観光協会会長（右から1人目）と能登町職員 **9**秋まつり恒例の能登町のブースでは、特産品である日本酒の試飲や「いしりラーメン」の販売などが行われました

能登町への災害義援金募金箱を設置しています

市では、能登町の住民を支援するため、指定募金箱を設置しています。寄付は所轄税務署で確定申告をすることで「寄附金控除等」の対象になります。申告に必要な領収書は窓口で発行しますので、募金箱にお金を入れる前に本庁3階企画政策課へお越しください。

設置場所

市役所本庁舎／須木庁舎／野尻庁舎／中央公民館

復旧・復興に向け歩み続ける 能登町 にも これからも 寄り添い、支えよう

氾濫や土砂崩れなどにより、再び道路や河川などに大きな被害が出たほか、農地や農業用施設にも大きな被害が発生しました。そうした状況の中でも、再び前を向き、復旧・復興へ向けて歩みはじめている能登町。家屋の公費解体は申請件数の3分の1を超える993件（12月11日時点）が完了し、次世代が希望を持てる持続可能なまちづくりを目指して「復興計画」の策定も進んでいます。

姉妹都市として能登町のために私たちにできること

11月23日の「こばやし秋まつり」では、能登町の大森凡世町長など関係者が来市しパレードに参加。恒例の能登町のブースも出店され、特産の日本酒の試飲や魚醬を使った「いしりラーメン」の販売などで人気を集めるなど、本市との交流も再開しています。

能登半島地震を経て、これまで以上に姉妹都市の絆は深まりました。これから先復興への長い道のりを歩く能登町のために私たちにできることは、その歩みに寄り添い続けることです。一日も早く能登町が復興を成し遂げ、人々から笑顔が戻ることを祈って。

元日の能登町を襲った大地震
家屋やインフラに大きな被害
1月1日で、「令和6年能登半島地震」から1年が経過します。姉妹都市石川県能登町では46名の方が亡くなり（12月1日現在、うち災害関連死44名）、6千以上の住家が被害を受けました。また、道路や河川、橋梁などのインフラへの被害は深刻で、中でも上水道は約6千戸で断水。5月2日によろやく町内全域で解消しました。

奥能登地方を襲った豪雨で再び大きな被害が発生

地震による被害に追い打ちをかけたのが、9月に発生した「令和6年奥能登豪雨」。9月21日には能登町に「大雨特別警報」が発表され、48時間雨量が最大371mmを観測する記録的豪雨となり、床上浸水13戸、床下浸水231戸の住家被害が発生したほか、一部集落が孤立。河川の

能登町の皆さんが心から笑える日が一日も早く来ることを願って

昨年5月から能登町に派遣され、主に道路や河川、橋梁などの復旧業務に当たっています。

9月の「奥能登豪雨」では、地震の被害を受けつつもなんとか通行できていた場所が通れなくなったり、再び断水した地域もあるなど、大きな被害が発生しました。土砂崩れで通行止めになり、まだ調査できていない場所もあります。

能登町のベテラン職員の中には「これまでにこんなに雨が降ったことはない」と話す方もいるなど過去にない大雨に見舞われ、地震とあわせて二重のショックを受けて心が折れそうになっている人もいました。事業所の数

が足りず復旧工事を少しずつ発注している状況であり、復旧・復興にはまだまだ長い時間がかかります。引き続き支援を続けていくことが必要だと感じます。

現在、能登町では新しいまちづくりの方針を定める「復興計画」がまとまりつつあります。残りの派遣期間も、能登町の現状を知り少しでもまちの再建に貢献できるように、そして住民の皆さんが心から笑える日が一日も早く来るように、力を尽くしたいと思います。

また、この貴重な機会に多くのことを学び小林市へ持ち帰るように業務に当たりたいと思います。



小林市から派遣され能登町で業務に従事する
おやま 直人 主幹

能登半島地震・奥能登豪雨を経験し、小林市の皆さんに伝えたいこと

小林市の皆さまには、発災直後からさまざまなご支援をいただき、本当にありがとうございました。

経験を通してお伝えしたいことは、まず「公助には限界がある」ということです。大規模災害時は市役所職員や庁舎も被災します。最低3日間は市役所の支援がなくても生活できる備えをすることが大切です。

2つ目は「地域のつながりが命を救う」ということ。能登町では安否確認、避難誘導、支援物資の配布、見守り活動などを地域の人が自主的にやっていました。日頃から地域のつながりが強いところは災害にも強い。常に地域のつながりを大事にすることが重要です。

※ 12月13日に野尻町農村環境改善センターで開催された講演会より

3つ目は「水とトイレの確保」です。能登半島地震で一番困ったのは、水とトイレの問題でした。携帯トイレを準備したり、飲料水はローリングストックで使いながら備蓄するといったのではないかと思います。

4つ目は「セカンドベストを考える」ということです。例えば豪雨災害時の最善策は避難所に行くことですが、難しいときは2階に上ることも避難になり避難行動の壁が低くなります。そういうセカンドベストを考えることも非常に大切だと思います。

また、災害時は情報も非常に大切です。もしもに備え、小林市の公式 LINE への登録をお願いします。



能登町危機管理室
みちした まさとし 道下 政利 室長 6



11月23日、五穀豊穡を祈念し、豊年に感謝する「こばやし秋まつり」が開催されました。

市内の団体や事業者など、計63団体1300人以上がパレードや総踊りに参加。中心市街地を山車や子ども神輿が練り歩いたほか、ブライダルコレクションのパレードなどが通るたび、沿道からは大きな拍手が送られました。

また、市内の飲食店などが出店する「食の祭典うめもん市」では、恒例の宮崎牛汁うどんが販売されたほか、姉妹都市能登町の特産品販売なども行われました。

Photo Report

こばやし秋まつり

- 2024.11.23 -





PhotoReport
第73回
こばやし駅伝競走大会
- 2024.12.1 -

区間賞〔氏名(敬称略)／校区／記録〕

■第1区=上瀧 ななえ／小林校区／3分27秒 ■第2区=田中 優哉／細野校区／6分49秒 ■第3区=河島 椿／小林校区／4分08秒 ■第4区=斉藤 元／東方校区／7分48秒 ■第5区=山下 晃生／小林校区／4分26秒 ■第6区=田中 啓喜／三松校区A／7分56秒 ■第7区=福田 麻誠／小林校区／7分48秒、今村 洸士郎／細野校区／同タイム ■第8区=内村 友一／細野校区／5分38秒 ■第9区=谷山 祐亮／栗須校区／6分05秒 ■第10区=下薮 由大／東方校区／7分06秒 ■第11区=春田 珠空／三松校区A／3分26秒 ■第12区=河島 未来／小林校区／4分19秒

総合成績

■1位=小林校区 ■2位=三松校区A
■3位=細野校区
■4位=西小林・幸ヶ丘校区
■5位=南校区 ■6位=東方校区
■7位=紙屋校区 ■8位=野尻校区
■9位=永久津校区 ■10位=栗須校区
■11位=須木校区

12月1日、抜けるような青空のもと、70年以上の歴史を持つ、市伝統の大会「第73回こばやし駅伝競走大会」が開催されました。大会には市内小学校区ごとに編成された12チーム(オープン参加含む)が出場。各校区の代表として選ばれた小学生から大人までの選手たちは、沿道からのたくさんの声援を受けながら、小林総合運動公園市営陸上競技場を発着する全12区間、20・7キロのコースで健脚を競いました。

レースは、大会5連覇を狙う小林校区が1区を先頭でタスキリレー。その後も安定した走りで2位の三松校区に3分以上の差をつけて優勝しました。

躍進賞の南校区は、レース序盤では3位争いを続け、その後も粘り強い走りで5位。昨年の7位から2つ順位を上げる躍進を遂げました。



地域包括ケア推進サポーターの 知識や技術向上を目指した講座開催

高齢や認知症になっても安心して暮らせるまちづくりに取り組む、地域包括ケア推進サポーターのフォローアップ講座が11月29日に開催されました。萩元博子さんを講師に迎えた講座に約44人のサポーターが参加。曲に合わせた体操や体全体を使って行うじゃんけんなどを体験し、通いの場などで実践できる技術を学びました。



地域包括ケア推進サポーターは、認知症支援の普及活動や、通いの場での介護予防の運動、高齢者の自宅に訪問し、傾聴を行う活動などに取り組んでいます

冬の風物詩「こばやし冬まつり」を開催

11月23日、小林駅南公園を会場に「こばやし冬まつり2024」が開催されました。今年で24回目の開催で、来場者は鮮やかなイルミネーションの写真を撮ったり、キッチンカーやステージイベントを楽しんでいました。イルミネーションは1月17日まで点灯予定です。



食育教室で日本料理について学ぶ

11月29日、永久津小で6年生を対象にした食育教室が開かれました。講師を務めたのは同校出身で市内で日本料理店を営む大山広行さんと、妻りんさん。児童は日本料理や日本の伝統・文化について学んだ後、だし巻き作りや弁当の盛り付けに挑戦しました。



円滑なボランティア受け入れを目指す 社協が災害 V C 運営訓練を実施

11月22日、市社会福祉協議会主催の災害ボランティアセンター運営訓練が行われました。訓練には同協議会と市SVCセンター、小林青年会議所、トヨタレンタリース宮崎などから約20人が参加。災害ボランティアセンターの仕組みを学ぶ講義のほか、実際のセンター運営の流れを学ぶ演習などを行い、災害発生時の動きを確認しました。



社会福祉協議会は、災害発生時、被災状況に応じ市が設置した災害ボランティアセンターを運営。ボランティア受け入れや支援活動の調整などの役割を担います

永久津小学校が創立150周年 児童や地域住民が節目を祝う

11月24日、永久津小学校の創立150周年式典が開かれました。オープニングセレモニーでは同校児童の合唱などが披露されたほか、式典第1部では学校の歩みをたどる記念ムービーを上映。参加者は150年の歴史を振り返りながら、地域の絆を再確認しました。同校は明治7年(1874年)の創立で、5千人以上の卒業生を輩出しています。



式典第2部では、地元保存会と6年生児童が地域の郷土芸能「めしげ踊り」を披露。同校の学校区内を拠点に活動する深奏太鼓の演奏もありました



社会福祉の発展・振興に尽力した 個人・団体が県知事表彰など受賞



11月12日、宮崎観光ホテルで宮崎県社会福祉大会が開催されました。大会では、長年にわたり社会福祉の発展・振興に寄与したとして宮崎県知事表彰、宮崎県社会福祉協議会会長表彰・感謝、宮崎県共同募金会会長表彰・感謝の顕彰が行われ、小林市内から個人29人と5団体が受賞しました。

【受賞者・受賞団体(敬称略)】

■県知事表彰(社会福祉功労) 種子田信義、神之蘭司、鎌宮玲子、山口みつよ、山田英一、井上圭子、佐藤宗一、山之口則子、相場アツ子、長野いち子、古川昭子、川添紘一、堀之内和利、中山敏章

■県知事表彰(社会福祉事業功労) 中園真寿美、温水美佐枝、村川八重子、窪田由香、原田孝貴

■県社会福祉協議会会長表彰(民生委員) 川野律子、四位達生、時吉捷二、酒井絹子、國武繁子、有島紘子、加藤憂子、(団体職員) 山下梨詠

■県共同募金会会長表彰(優良地区) 坂元区、西町三区、野尻五区、下九々瀬区、上九々瀬区、(篤志寄付感謝) 関谷恵子、松本ルリ子

農業の魅力伝える農業フォーラム開催

10月23日と11月26日、JAこばやし青年部野尻支部が秀峰高生と野尻中生を対象に農業フォーラムを開催しました。子どもたちに農業への理解を深めてもらいたいと同支部が企画。地域の農畜産業を紹介する講演などを通して農業の魅力を伝えました。



(株)加藤牧場と(有)ダイワファーム 全国のチーズコンテストで高い評価

11月20日、(株)加藤牧場(加藤教昭代表)と(有)ダイワファーム(大窪和利代表)が10月に行われた「Japan Cheese Awards 2024」の結果を市長に報告しました。加藤代表が出品したカマンベールチーズが「ソフト/白カビ部門」で金賞と最優秀部門賞を、大窪代表が出品したロビダイワが「ソフト/ウォッシュ部門」で金賞を受賞しました。



加藤代表は「小林のおいしい水のおかげで良いチーズが作れる」、大窪代表は「受賞はうれしい。もっと宮崎でチーズ文化が広がってほしい」と話しました

豊かな地域社会づくりに貢献 明治安田生命保険相互会社が寄付

11月20日、明治安田生命保険相互会社が市に約82万円を寄付しました。同社が豊かな地域社会づくりに貢献しようと展開する「私の地元応援募金」として令和2年度から毎年寄付いただいております。寄付金は、同社の意向に基づき地域住民の健康増進や介護・認知症予防、子育て支援などの施策の充実に活用されます。



同社とは、令和2年度に「健康増進に関する連携協定」も締結。イベント会場で健康測定会を実施するなど、市民の健康増進に貢献いただいています

障害の有無に関係なく共に学ぶ インクルーシブな学校運営を目指す

12月9日、小林こすもす支援学校と小林高、東方小、東方中の代表者らが集まる「学校運営連携協議会」が開かれました。小学部と中学部、高等部がある同支援学校と3校は併設されており、日頃からスポーツや音楽などで交流。障害の有無に関わらず、児童生徒が交流と共同学習ができる環境づくりのための課題共有などが行われました。



こすもす支援学校の森永英津子校長は「4校が集まり、共生社会実現に向けた想いや課題の共有ができた。同じ方向を向いて活動を続けたい」と話しました

ライオンズクラブが環境美化用品を寄贈

12月6日、小林ライオンズクラブ（川野雄司会長）が市内全小・中学校に環境美化用品を寄贈しました。昭和53年から続く同クラブの青少年育成事業の一貫で行われているもの。川野会長は「清潔な環境で生活することは心身ともに健康につながる」と話しました。



地域と交流深めるシン・小林小まつり

12月7日、シン・小林小まつりが開催されました。午前中は小林小まちづくり協議会と連携し、地域の名人たちを講師に迎えてグラウンドゴルフやごみ拾いなどを実施。午後はPTA主催の飲食の販売やスポーツ少年団の紹介などが行われ、会場は盛り上がりしました。



長年地域の人権意識醸成に尽力 榎光子さん藍綬褒章を受賞

12月6日、秋の褒章で藍綬褒章を受章した榎光子さんの受章祝賀会が開催されました。榎さんは、平成17年から人権擁護委員として市民の人権相談や人権啓発活動に尽力。子ども向けの人権教室では「自分がされて嫌なことは人にはしない」と分かりやすく伝えることを心がけるなど、人が生きる権利を守る大切さを広く伝えてきました。



榎さんは「受章は私個人ではなく、市全体でいただいたものと感じている。改めて、足元をしっかりと見た活動をしていきたい」と話しました

西小林中が駅伝ロードレース大会開催 高校生から走るコツや楽しさ教わる

12月6日、西小林中の駅伝ロードレース大会が市総合運動公園でありました。今年は、全国高校駅伝大会出場を決めた小林高校の男女駅伝部も参加。生徒たちは、ウォーミングアップの際に高校生から走り方のコツや呼吸法などを教わったほか、駅伝やロードレースでは伴走する高校生から励まされながら精一杯会場を駆け抜けました。



憧れの高校生と一緒に走ることで走る楽しさを実感して欲しいと西小林中学生会が企画し、同部の参加が実現。大会後は全国大会出場の激励会も開催されました

消防車両で医師らを現場へ運ぶ 西諸広域と市立病院が協定を締結

12月4日、西諸広域行政事務組合と小林市立病院が救急現場への医師の出動に関する協定を締結しました。傷病者に生命の危険が切迫するなどしている場合、病院側へ医師や看護師の出動を要請。同組合消防本部の消防車両に医師らを乗せ、現場に向かうなどするもの。早期に適切な医療行為を行うことで救命率の向上などが期待されます。



県のドクターヘリを要請できない悪天候時や山間部などへの出動を想定しており、運用は原則、平日の9時～17時で12月16日から開始予定です

小林看護医療専門学校の学生2人 九州大会（テニス競技）で飛躍

11月14日と15日に宮崎市で開催された「第43回九州ブロック専門学校体育大会」に出場した小林看護医療専門学校の安藤星哉さん（1年）と上野楓さん（2年）が、12月4日に結果報告のため市長を訪問しました。安藤さんは県連合チームとして団体戦で優勝し、個人戦でも準優勝。上野さんは個人戦で3位と好成績を取めました。



安藤さんは「初の九州大会。周囲の応援が力になり結果を残せた」、上野さんは「昨年は悔しい思いをした。今回は結果を残せてうれしい」と笑顔で報告

地域防災の要となる人材を育成 33人を市民防災リーダーに認定

11月30日、市民防災リーダー養成講習会が中央公民館で開かれました。講習会は、地域の防災対策のリーダーとなる人材を育成するもので、地域住民など33人が参加。参加者は、防災の基礎知識や昨年1月に発生した能登半島地震での事例などについて学んだほか、心肺蘇生法やAEDの使用方法、ロープワークなどの実技も学びました。



災害ボランティアコーディネーターセンターの講師からロープワークを学ぶ様子。参加者は防災に関する幅広い知識や実技を学びました

恩師や保護者に成長した姿見せる 小林西高調理科の学習成果発表会

12月4日、小林西高調理科3年生の学習成果発表会と試食会が開催されました。卒業を前に生徒たちの成長を披露する場として開かれているもので、8班に分かれた生徒25人は、3年間で学んだ日本料理や西洋料理、中華料理などを基に考えた34品の料理を用意。保護者など約70人が生徒たちの集大成となる料理に舌鼓を打ちました。



豊原巴南さんは「入学当初は包丁を持つことすら怖いと思ったことも。実習を通して成長した姿を見せられるよう自信のある品を作った」と話しました

令和5年度 まちづくり 市民アンケート結果報告

市では、「第2次小林市総合計画（将来都市像：みんなであなむ 笑顔あふれる じょじょんよかとこ 小林市）」の実現に向けてさまざまな施策を推進しています。この将来都市像の達成に向けて、市内各地域、幅広い世代の意見をまちづくりに反映するため「まちづくり市民アンケート」を毎年実施しています。

アンケート結果は、市政運営に活用されます。
●問＝企画政策課 Tel 23 - 0456



■実施日	令和6年1月31日～2月21日		
■配布枚数	2,000部	■回収数	601部
■有効回答率	30.1%		
■対象者	市内在住の満16歳以上の方(無作為抽出)		

「美しい自然」や「今後も住み続けたい」など『暮らし』分野の満足度が高い結果

第2次小林市総合計画の各分野（にぎわい、いきいき、まなび、暮らし）の目指す状態である「基本構想」の満足度を調査しました。特に平均値が高い

項目は、「美しい自然が残り、いつまでもおいしい水が飲める」、「今後も小林市に住み続けたい」など前回調査に引き続き「暮らし」分野の満足度が高い結果となりました。

平均値が低い項目は「人が集まってにぎわいがある」、「身近に文化・芸術を感じられる」などでした。

基本構想の評価 (R4・R5 まちづくりアンケートより)		基本構想の“目指す状態”を「そう思う4点、ややそう思う3点、ややそう思わない2点、そう思わない1点」の4段階でアンケートを行い、その平均値を算出しています。	
にぎわい	将来都市像 みんなであなむ 笑顔あふれる じょじょんよかとこ 小林市	2.82 (R4)	2.17 (R4)
		2.66 (R5)	2.11 (R5)
	人が集まっていてにぎわいがある	1.81 (R4)	1.96 (R4)
		1.71 (R5)	1.89 (R5)
	豊かな地域資源が活用されている	2.14 (R4)	1.95 (R4)
まなび		2.13 (R5)	1.90 (R5)
	暮らしが豊かである	1.93 (R4)	1.86 (R4)
		1.89 (R5)	1.77 (R5)
	働きがいがある	2.11 (R4)	2.43 (R4)
		2.07 (R5)	2.38 (R5)
いきいき	出会い、ふれあい、支え合いがある	2.24 (R4)	2.28 (R4)
		2.15 (R5)	2.18 (R5)
	健康・いきがいがある	2.46 (R4)	2.56 (R4)
		2.39 (R5)	2.37 (R5)
	高齢者が元気でいられる	2.61 (R4)	3.33 (R4)
		2.54 (R5)	3.25 (R5)
	障がい者が夢や目標を持てる	2.04 (R4)	2.97 (R4)
		1.97 (R5)	2.86 (R5)
	子育てがしやすい	2.20 (R4)	2.57 (R4)
		2.06 (R5)	2.51 (R5)
暮らし	あんしんして医療が受けられる	2.09 (R4)	3.12 (R4)
		1.97 (R5)	3.00 (R5)

今年度もアンケートを実施します

「まちづくり市民アンケート」を1月に実施します。市全体の傾向を把握するための極めて重要なアンケートですので、ご協力をお願いします。

■アンケートの取り扱い

- ・調査は無記名で、個人を特定する内容は含みません
- ・調査結果は市ホームページや広報紙などで公表します

●問＝企画政策課 Tel 23 - 0456

KOBAYASHI デジタルの日

eスポーツやVR技術などで誰もが楽しめるイベントを開催

11月23日、「こばやし秋まつり」にあわせて、TENAMU 交流スペースで「KOBAYASHI デジタルの日 2024」を開催しました。

市では、東京大学先端科学技術研究センターとの連携協定の取り組みをもとにデジタル技術などの活用を進めており、今回はeスポーツやVR技術など使った世代を超えて誰もが楽しむことができるイベントとして企画しました。

当日は、自転車車をこいで仮想空間内で陣取りをする超人スポーツ「Spirit Overflow」やVRゴーグルを使ったバーチャル世界でのサファリ体験、対戦型格闘ゲーム「THE KING OF FIGHTERS



「XV」の体験ブースを設置。また、パズルゲーム「ぷよぷよeスポーツ」のトーナメント方式の大会も開催され、会場は子どもから大人までデジタル技術を体験するたくさんの人でにぎわいました。



Photo1「Spirit Overflow in KOBAYASHI-CITY」のコースはワークショップで市民がデザインしたものを使用 2「THE KING OF FIGHTERS XV」の体験の様子 3 VRでゾウやライオンなどのリアルな動物や風景を体験 4・5「ぷよぷよeスポーツ」では熱戦が繰り広げられ、大いに盛り上がりしました

従業員・職員が楽しみながら健康づくり

こばやし健幸ポイントを活用した企業対抗ウォーキングチャレンジ



株式会社 ちからこぶ



株式会社 山崎

小林泌尿器科クリニック

企業対抗ウォーキングチャレンジ概要

■期間 10月1日～10月31日

■内容 期間中のチーム平均歩数で競う

■参加費 無料

■参加条件 (次の全てを満たす)

- ①市内に所在地を有する事業所②チーム参加者が同一の事業所に勤務している③チーム参加者が5人以上④チーム参加者が健幸ポイント事業に参加登録している

10月1日～10月31日まで、こばやし健幸ポイントを活用して、働く世代の健康づくりを目的に期間中の平均歩数を競う企業対抗ウォーキングチャレンジを開催しました。イベントには昨年度の14事業所から新たに9つの事業所が加わり、計23事業所、370人が参加。活気にあふれた対抗戦となりました。

結果発表（事業所名と平均歩数）※上位8事業所

【金賞（1位）】株式会社 ちからこぶ（548,364歩）
【銀賞（2位）】株式会社 山崎（350,311歩）
【銅賞（3位）】小林泌尿器科クリニック（305,285歩）
【4位】社会福祉法人 小林市社会福祉協議会（269,418歩）

【5位】有限会社 永崎建設（251,660歩）
【6位】株式会社 小林衛生公社（246,486歩）
【7位】医療法人養気会 池井病院（233,377歩）
【8位】社会福祉法人 燦燦会（195,228歩）

※令和6年度こばやし健幸ポイント事業のポイント付与期間は1月31日で終了します

募集

植樹祭参加者募集

小林市の緑豊かで広大な自然環境を「水源の森」として守り育て、次の世代へと受け継いでいくことを目的に、植樹祭を開催します。

◆日時 2月15日（土曜）9時30分～12時

※小雨決行。荒天時は中止

◆集合場所

市役所本庁舎駐車場（バスで植樹会場に移動します）

◆植樹会場

松ヶ尾市有林（小林市北西方字松ヶ尾）

◆準備するもの

雨具、タオル

※作業用具（山クワ・軍手）と飲み物は主催者側が準備

◆服装

作業ができる服装、動きやすい靴（履き替え用の靴もご準備ください）

◆申込方法

植樹祭参加希望と明記し、①代表者住所、②代表者・参加者全員の氏名（ふりがな）、③年齢、④電話番号を記入し、電話、ファックス、ハガキ、

電子メールのいずれかで申込みください。応募者には、後日案内状を送付します。

◆応募締切 1月24日（金曜）

◆申・問・農業振興課

〒886・8501

小林市細野300番地

TEL 23・0300

Fax 23・0334

Mail k_nourin@

city.kobayashi.lg.jp



講座・催し

生涯学習講座

中央公民館講座

【簡単手づくり味噌講座】

懐かしい味噌を楽しく作りましょう。

◆日時 2月20日（木曜）10時～12時

◆場所 中央公民館

◆参加費

無料（別途材料費必要）

◆定員 20人

◆申込締切 2月6日（木曜）

【薬草・ハーブ講座】
薬草やハーブの効用について学びます。

◆日時 3月6日（木曜）9時～12時

緑の募金事業
赤ちゃん誕生記念樹をプレゼント

赤ちゃんの誕生記念と親子の一生の思い出づくりに、「記念樹」をプレゼントします。室内で育てられる観葉植物も用意しています。

対象者

市内に住所があり、令和6年1月1日から令和6年12月31日までに赤ちゃんが生まれた世帯

種類・高さ

ハナモモ、ブルーベリー、ハナミズキ、ガジュマル（観葉植物）の4種類（ガジュマル40号程度、他1号程度）
※希望樹種にならない場合があります

申込方法

ハガキかファックス、メールに「赤ちゃん誕生記念樹希望」と明記し、住所・氏名・赤ちゃんの名前・赤ちゃんの誕生日・電話番号・希望樹種・受取希望場所（庁舎）を記入して応募ください。その他、下記で直接申し込みできます。

◆申込期限 1月24日（金曜）

◆受取場所 市役所各庁舎

◆受渡時期 2月下旬予定（申込者へ別途連絡）

申込み・問い合わせ

農業振興課 TEL 23-0333 Fax 23-0334

Mail k_nouson@city.kobayashi.lg.jp

須木庁舎地域振興課 TEL 48-3131

野尻庁舎地域振興課 TEL 44-1100

◆日時（各火曜）

①2月25日、②3月11日10時～12時

◆場所

須木総合ふるさとセンター

◆参加費

無料（別途材料費必要）

◆定員 10人

◆申込締切 2月10日（月曜）

共通事項

◆対象 市内在住・在勤の人

◆申込方法 窓口か電話

◆その他 申込多数の場合は抽選。締切後も定員に空きがある場合は受け付けます。

◆申・問・中央公民館

TEL 22・3482



保健・福祉

子どもの歯の健康相談会

子どもの歯を守るためには、小さいころから予防の習慣が重要です。フッ化物塗布体験、歯みがき指導、歯科医師による歯の健康相談などを行います。

◆日時 2月2日（日曜）10時～11時30分

◆場所 市保健センター

◆対象 3歳～小学6年生

◆内容

フッ化物塗布体験（予約制）

むし歯予防指導など

歯科医師による個別健康相談（予約制）

◆定員

フッ化物塗布体験 50人

歯科医師個別相談 6人

◆申込方法 窓口か電話

◆費用 無料

◆注意事項

◆歯みがきを済ませて来てください。

◆必ず保護者同伴でお越しください（印鑑不要）。

◆母子健康手帳をお持ちください。

◆フッ化物塗布の効果

フッ化物には、歯の再石灰化を助け、歯の質を強くすること、むし歯になりにくい歯にする効果があるとされています。

生えだての乳歯や永久歯は

歯の質が弱くむし歯になりやすいため、家庭での仕上げみがきやおやつの時間、内容の工夫に加えて、フッ化物塗布

をすることで予防効果が上がるとされています。

◆申・問・こども課

TEL 23・4319

Fax 23・0319

予防接種についてのお知らせ

◆問 = 健康推進課 TEL 23-0323

昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性

風しん抗体検査・予防接種

※令和6年度で終了します

抗体検査が無料で受けられるのは2/28（金）まで

これまで風しんの予防接種を受ける機会がなかった成人男性を対象に、風しんの抗体検査・予防接種のお知らせを発送しています。対象者は、医療機関で風しん抗体検査を受けて抗体価が低い場合、無料で予防接種を受けられます。

詳細はコチラ
（市ホームページ）



対象者

昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性で、令和元年度から令和6年度に送付した「風しんにおける抗体検査券および予防接種クーポン券」を使用していない人

クーポン券の有効期限

令和7年3月31日（月曜）まで
※ただし、抗体検査の有効期限は
令和7年2月28日（金曜）まで

自己負担額

抗体検査・予防接種とも無料

県内の実施医療機関一覧はコチラ



65歳以上、60～64歳で特定の障がいのある人

インフルエンザ予防接種
新型コロナウイルス感染症予防接種

2/28（金）まで実施期間を延長します

実施期間を過ぎると公費負担の適用がなくなりますのでご注意ください。実施医療機関については、健康推進課に問い合わせください。

実施期間

2月28日（金曜）まで

対象者

- ☑ 65歳以上の人
- ☑ 60歳～64歳の人で、心臓やじん臓、呼吸器、免疫機能に重い病気があり、日常生活の活動が極度に制限される程度の障がいのある人

インフルエンザ予防接種の詳細はコチラ
（市ホームページ）



新型コロナ予防接種の詳細はコチラ
（市ホームページ）



自己負担額（期間中1回）

インフルエンザ予防接種 1,500円
新型コロナウイルス感染症予防接種 3千円
※生活保護世帯の方は無料。受給証明書を医療機関に提出してください

●納付・納税・年金 ほけん課 Tel 23-0116 税務課 Tel 23-0115 市民課 Tel 23-1112

種 類	月 日	場 所	時 間	備 考
休日納付・納税相談窓口	1月19日(日)	ほけん課・税務課窓口	8:30～17:15	※毎月第3日曜日
年金移動相談 ※要予約	1月23日(木)	市役所本館1階 相談室	10:00～15:00	予約:都城年金事務所

※年金移動相談は、事前に都城年金事務所 (Tel 0986-23-2571) に電話予約をお願いします

二原遺跡公園公開日

1月19日(日曜)
時間 9:30～11:30

農地移動申請

場所 農業委員会事務局
時間 9:00～17:00
受付開始日 1月9日(木曜)
受付締切日 1月16日(木曜)

税・保険料の納付期限

※納期限は1月31日(金曜)です

市県民税 4期
介護保険料 7期
国民健康保険税 7期
後期高齢者医療保険料 7期

これは何ごみ? 答え

クッションは
「中身の素材で分別」
中がスポンジやビーズの場合は
『燃やさないごみ』、綿や羽毛などの場合は『燃やすごみ』です。市のごみ袋に入れて出しましょう。
●問=生活環境課 Tel 23-8122

●人権・行政・なやみごと相談 市民課 Tel 23-1141

月 日 曜	種 類	会 場	時 間
1 14 火	人権・行政・なやみごと	市役所東館1階会議室4	10:00～15:00
21 火	人権・なやみごと	市役所東館1階会議室4	
28 火	人権・なやみごと	市役所東館1階会議室4	
2 4 火	人権・行政・なやみごと	須木総合ふるさとセンター	
6 木	人権・行政・なやみごと	野尻町保健福祉センター	

ひとりで悩まずお話しください

◆こころの電話相談

NPO 法人こばやしハートム 月 20時～22時 ☎27-1850

◆お悩み傾聴ダイヤル	下記日時以外		☎0570-783-755
◆こころの電話相談	月～金	9時～19時	☎0985-32-5566
◆NPO 法人国際ビフレンダーズ宮崎自殺防止センター	日 月 水 金	20時～23時	☎0985-77-9090
◆NPO 法人宮崎いのちの電話	月 水 金	21時～4時	☎0570-783-556
	日 火 木 土	18時～4時	

その他の相談会や集い (参加希望者は事前に連絡ください)

小林保健所の相談会 (場 小林保健所 問 23-3118) : 小林こすもす家族会
▼アルコール家族教室 (アルコールで悩む本人・家族) : 精神障がい者とその家族の悩み
日 毎月第2火曜 時 13時30分～15時30分 : や思いを一緒に話しませんか
▼ひきこもり・こころの健康相談 : 日 毎月第2水曜
日 毎月第4火曜 時 13時30分～15時30分 : 時 13時30分～15時30分
▼わかちあいの会 (自死遺族のつどい) : 場 市民活動支援センター
日 毎月第4木曜 時 13時～15時 : 問 Tel 080-6423-5858

リサイクル日程

生活環境課 Tel 23-8122
小林市清掃工場 Tel 24-0959
須木住民生活課 Tel 48-3132
野尻住民生活課 Tel 44-1100

区	1月	2月
水流迫、東方1・2	7	4
真方1・2・3	8	3
南西2・3、通り町	9	5
南西1の西、南西4本町、新生町	9	5
南西1の東、種子田	10	6
北西1・3、緑町	14	10
北西2、坂元	15	7
西町1・2・3 南島田	16	13
仲町、永田町、後川内	23	12
細野2・3、南真方	24	20
細野1、南真方西	28	21
南真方東 上町・上町西	29	26
上町中、上町東 上町北	30	27
西堤、南堤	31	28
北堤	31	28
野尻地区 (第3日曜)	19	16
須木地区 (第4日曜)	26	23

今月の これは何ごみ?



「クッション」
(答えは左のページ)

●育児・親子健康日程

問: こども課 Tel 23-4319

種 類	月 日	時 間	会 場
妊婦健康相談 母子健康手帳発行	毎週月曜 (祝日除く)	受付 9:00 ～ 11:30	小林市保健センター
キッズフロア	2月5日(水)	受付 9:30 ～ 11:00	
もぐもぐクッキング (要予約)	1月22日(水)	受付 13:45 ～ 14:00 開催 14:00 ～ 15:30	
赤ちゃん健康診査	1月23日(木)	※個別に案内しています	
1歳6か月児健康診査	2月6日(木)		
3歳児健康診査	1月16日(木)		

●にここ運動教室 (13:30～15:30)

問: 社会福祉協議会野尻支所 Tel 44-1206

場 所	1月	2月
野尻町保健福祉センター	14日(火)、28日(火)	4日(火)

●健康相談

問: 健康推進課 Tel 23-0323

月 日 曜	種 類	会 場	時 間
平日(祝日を除く)	健康相談 (体組成計・血管年齢測定)	小林市保健センター	8:30～17:15 (要予約)
1 21 火	まちかど健康相談	コープみやざき 小林店	13:30～15:30
23 木	まちの保健室	コープみやざき 小林店	
2 5 水	まちかど健康相談	プラッセだいわ 小林店	

日曜祝日在宅当番医 (原則として9時から17時)

月	日	曜	在 宅 医	電話番号
1	12	日	小林泌尿器科クリニック	25-0505
			整形外科前原病院	23-1711
	13	月	池田病院	23-3535
			小林保養院	22-2836
	19	日	くすもと内科クリニック	23-1115
			野尻中央病院	44-1141
2	26	日	上田内科	23-3377
			立山整形外科医院	22-1717
	2	日	ひろた内科クリニック	25-0550
	9	日	池井病院	23-4151

※変更になる場合もありますので、各医療機関にご確認ください



きずな協働体通信

このコーナーでは、市内9地区で設立された「きずな協働体」の活動やイベント情報を紹介します！

「命のバトンプロジェクト」に取り組んでいます



④地域住民に「命のバトン」を配る後川内区の幸田区長
⑤南校区まちづくり協議会 Facebook

南校区まちづくり協議会
能登半島地震では、姉妹都市能登町をはじめ、石川県の広範囲が甚大な被害を受けました。そこで南校区まちづくり協議会では、災害時の情報共有の方法として「命のバトン」を広めていくことにしました。

命のバトンは、災害などの緊急時に一人暮らしの高齢者の救助・救命活動に役立つよう、かかりつけ医療機関や緊急連絡先などの情報を保管したケースのこと。ケースの保管場所も各家庭同じ場所にする事で、「もしも」に備えることができます。

大切な命をつなぐ方法として、市内の広い範囲で取り組んでいくことが今後の目標です。みんなで「命のバトンプロジェクト」を広げていきましょう。

東方校区まちづくり協議会



創立150周年イベントの様子



健幸ウォーキング大会の様子

東方小学校創立150周年おめでとう！

11月17日に東方小学校創立150周年記念式典が行われました。記念イベントでは、東方中生徒による郷土芸能「輪太鼓踊り」が披露され、東方校区まちづくり協議会では、子どもたちにポップコーンやがねを提供しました。

東方校区まちづくり協議会では、今後も子どもたちの思い出づくりを支援していきます。

2月には、毎年恒例の東方健幸ウォーキング大会も開催しますので、ぜひご参加ください。

●開催日 2月11日（火曜・祝）
■コース 東方地区内
※詳細は1月15日以降に決定します
●問 東方まちづくり協議会
TEL 48・0205

市民活動講座を開催します！



講師
④ ㈱まるのころボ代表取締役 NPO法人頼娃おこそ会副理事長 加藤 潤さん
⑤ 書籍雑誌編集者 ㈱エディットライフヨコボウ代表 総谷久美さん

市民活動支援センターでは、熱中小学校との共催で市民活動講座を開催します。

講師は株式会社まるのころボ代表取締役でNPO法人頼娃おこそ会副理事長の加藤潤さんと、書籍雑誌編集者で株式会社エディットライフヨコボウ代表の総谷久美さんのお二人です。

地域で活動していくヒントや、自分や商品の売り込み方、SNSの効果的な使い方など、今後の活動に役立つ内容となっています。ぜひご参加ください。

■日時 1月18日（土曜）
13時～15時30分
■場所 市民活動支援センター 第一会議室
●問 市民活動支援センター
TEL 27・3177

市民活動支援センター

教育委員会

2024 小林市読書まつり

読書感想文・感想画コンクール

11月10日、中央公民館で「2024 小林市読書まつり 読書感想文・感想画コンクール表彰式」が開催されました。

コンクールは、子どもたちが本に親しみ、読書とおして言葉を学び、感性を磨くことで表現力が豊かになることを願い毎年実施しているもの。

今年は読書感想文・感想画あわせて市内小・中学校から128点の応募があり、36点を市長賞、議長賞、教育長賞として選出しました。

表彰後は、読書感想文で市長賞を受賞した三松小学校6年の上原杏夏さんが代表して感想文を朗読。

また、入賞した読書感想画は、市立図書館や市役所1階多目的スペースで展示を行いました。



写真④ 受賞作を朗読する上原杏夏さん（題「けんかしてもいいじゃない」）
写真⑤ 市役所本館1階多目的スペースでの読書感想画の展示の様子

【読書感想文受賞者（敬称略）】市長賞 相楽美月（南小1年）、山下紗奈（野尻小2年）、種子田陽菜（細野小3年）、堂園萌々香（野尻小4年）、池上和愛（野尻小5年）、上原杏夏（三松小6年）、内木場璃桜（東方中3年）
議長賞 中窪桜子（南小1年）、山川小百合（須木小2年）、平川心桜（南小3年）、深野木悠隼（細野小4年）、三宅見翔（細野小5年）、田中つぐみ（三松小6年）、吉ノ蘭薫（東方中2年）
教育長賞 成松舞華（南小1年）、村川結咲（紙屋小2年）、吉田栞（三松小3年）、倉田そら（三松小4年）、佐土原かりん（紙屋小5年）、中島逸喜（永久津中1年）
【読書感想画受賞者（敬称略）】市長賞 平川縁（須木小1年）、平川新（須木小2年）、今井瑛羽（南小3年）、春成由陽菜（南小4年）、高岩凌河（南小5年）、木下しおり（南小6年）
議長賞 福岡桜弦（南小1年）、鎌田こなつ（栗須小2年）、荻窪心穂（南小3年）、松本陸央（南小4年）
教育長賞 拂山明里（南小1年）、山元俐乃（野尻小2年）、河野太一（三松小3年）、檜山蒼真（西小林小4年）、恒吉晴之介（細野小5年）、川野優志郎（三松小6年）

「食」の大切さや楽しさを絵画で表現

「弁当の日」絵画作品コンクール 最優秀賞3点が決定！

「食」の大切さや楽しさを考えてもらおうと、夏休みを利用して今年も市内小・中学生を対象に「弁当の日」に関する絵画作品を募集しました。今年は271点の応募があり、各部門で最優秀賞3点が決定しました。最優秀賞作品は、ポスターを作成し、市内小中学校や市役所に掲示します。

小学校下学年の部

細野小2年 松岡芽沙さん



小学校上学年の部

南小6年 永野愛莉果さん



中学校の部

小林中2年 西藤心渚さん



～児童書～



『いかあげ たこあげ』
作：高嶋 じゅん子
絵：高嶋 純
発行：偕成社

～一般書～



『草莽の臣』
著者：森山 光太郎
発行：早川書房

休館と開館時間

【本館】毎週月曜は休館
◆開館時間 9時～19時 ※日曜と祝日は17時まで
【須木分館】毎週月曜と祝日は休館
◆開館時間 9時～17時
【野尻分館】毎週月曜と祝日は休館
◆開館時間 10時～18時30分 ※日曜は17時まで
毎月1日は館内整理日のため全館（本館・須木・野尻）休館

特別整理による休館のご案内

図書館本館・須木分館・野尻分館の蔵書
約19万冊の資料確認（蔵書点検）を行
うため、次の日程が休館となります。

本館

2月1日（土曜）～2月10日（月曜）

須木分館・野尻分館

2月1日（土曜）～2月11日（火曜）

蔵書点検とは？

図書館の全ての資料のバーコードを1冊
1冊読み取り、所蔵データを確認します。
資料が正しい場所にあるか、資料自体に
異常がないかを確認し、同時に書架の整
理と清掃も行います。

基礎工事の杭打ち作業が進行中！

現在、新市民体育館の建設現場では、建物を支える重要な作業である杭打ち工事が進められています。これは、建物を安全かつ強固に支えるために122本の杭を地中に最大29m打ち込む作業。この工事で地盤の深い層まで強固な杭を打ち込み、その杭を通じて建物の重さをしっかりと支えることで、災害に強く地震などの外的要因にも耐えられる安定した建物の基盤が作られます。

写真は、現在の工事現場をドローンで空撮したものです。打ち込まれた杭頭が敷地左側に精密に並んでいる様子が確認できます。このように、建設工事は安全性を第一に、着実に進んでいます。市民が安心して利用できる施設となるよう、今後も丁寧な施工を進めていきます。



問=建設課 TEL 23-0311

日常会話で使える手話を毎月紹介します。手話を使っている方とコミュニケーションをとってみませんか？

春

モデル：須木中3年 綿引 来空 さん

両手のひらを上に向けて、お腹のあたりから
繰り返し優しくあおるようにします



おはよう・朝

モデル：細野小5年 鶴野 叶大 さん

耳の横に拳を置き、あごのところまで拳を上げます



電動バギーの試乗を楽しむ参加者

12月14日、えびの高原で「北きりしまの自然を活かしたサステナブルなイベント3選」を開催しました。

①自然エネルギーを学ぶ
太陽光でつくる電気を
使い、電動のバギーとキ
ックボードの試乗、溶岩
プレートを使った宮崎牛
のふるまいを行いました。

②癒しのワークショップ
「シンギング・リン」
という音響楽器を鳴らし
て波動を感じたり、体に
当てるヒーリング療術体
験を行いました。

③星のソムリエの
星空鑑賞会
天体望遠鏡で月を観察
したり、星空鑑賞のポイ



大自然の中で聞く「シンギング・リン」の心地よい音色に参加者たちは癒されました

「それはダメ」や「違うんじゃない」と自分の考えを言ってしまうがちです。小言や説教はいったん横に置いて、子どもの気持ちに共感し、受け止めてください。まずは、「一緒に考えよう」という気持ちで寄り添ってみましょう。

ひとりでも悩まないで！
話を聞く方もこころが疲れてしまうことがあります。周囲の方や相談先に「ぐち」を話すことも大事です。「ひとりでも悩まないで！誰かに話してみませんか？」

参加者は、五感を使って自然の大きさや可能性について、楽しみながら学んでいました。

今後も、県内外から多くの観光客を呼び込むため、小林市を中心とした北きりしま地域（小林・えびの・高原）の魅力を生かしたコンテンツづくりを続けていきます。

小林まちづくり株式会社

〒886-0008
小林市本町16
8時30分～17時30分
(土日祝日除く)
TEL 27-3280
Fax 27-3257



見逃していませんか？ 子どものこころのSOSサイン



子どものSOSのサイン

- ☐ なかなか寝付けない、起きられない
逆に寝過ぎる
- ☐ 食事の量や体重が急に増えたり
減ったりする
- ☐ 元気がない、顔色が悪い、頭痛や
めまいなどを訴える
- ☐ 「外に出たがらない」、「しゃべらな
くなった」、「反応がない」など、
いつもと変わった様子がみられる

小林市版
こころの電話帳



こころもメンテしよう
(厚労省ホームページ)



子どもの様子がいつもと違うと感じたら
慌ただしい年末年始、楽しいこともありすが、大人も子どももちょっと疲れ
たりします。

子どもには「こころ」が
疲れているときに出してい
るサインがあるようです。

「いつもと違うな？」「ど
うしたのかな？」と感じた
ときは、まずは話を聞いて
みてください。

「それはダメ」や「違うんじゃない」と自分の考えを言ってしまうがちです。小言や説教はいったん横に置いて、子どもの気持ちに共感し、受け止めてください。まずは、「一緒に考えよう」という気持ちで寄り添ってみましょう。

ひとりでも悩まないで！
話を聞く方もこころが疲れてしまうことがあります。周囲の方や相談先に「ぐち」を話すことも大事です。「ひとりでも悩まないで！誰かに話してみませんか？」

すくすく募集中！

広報紙に自慢の家族の写真を掲載しませんか。

◆申込方法

下記記載の必要事項をメールかGoogle フォームで送信してください。

Google フォーム▼



◆必要事項

①子どもの名前、ふりがな、生年月日、性別／②掲載する写真／③保護者の名前／④コメント(50文字以内)

【申・問】・企画政策課 Tel 23-0456

Mail : info@city.kobayashi.lg.jp



蘭牟田 結希ちゃん 令和6年2月1日生

世界一可愛い娘です♡
保護者：蘭牟田宵響、怜華



橋満 祐奈ちゃん 令和6年4月3日生

可愛い笑顔に毎日癒されてるよ(^^)
これからもたくさん癒してね！
保護者：橋満和之、沙優里



日高 健史くん 平成30年11月29日生

いつも明るく元気な健史くん。
来春からの小学校生活を楽しみにしています
保護者：日高健史、エミリー



甲斐 律稀くん 令和5年4月20日生

弟にイタズラしたりする事もあるけど
一歳児なりになんだかんだと弟を気に
かけてくれるりっちゃんありがとう
保護者：甲斐匠、美樹



川添 紗奈ちゃん 令和5年4月20日生

いつも笑顔にしてくれてありがとう。
紗奈ちゃんは家族みんなの宝物です。
いっぱい食べて遊んで大きくなあれ！
保護者：川添健央、真璃

<編集後記>

能登半島地震から1年です。今回記事を作るに当たって、改めて地震・豪雨の被害の大きさに驚きました。今後も復興の歩みを広報紙で伝えながら、能登町のために自分になにができるか考えていきたいと思っています。(前原)

寒さが進むと、今年も駅伝シーズンがやってきたのだと感じます。市内をコースに走る県高校新人駅伝や南九州駅伝など、駅伝のまち小林では多くの大会が開かれます。たくさんの沿道からの応援で選手を出迎えましょう(榎田)

広報紙へのご意見・ご感想をお気軽に寄ってください

読んだ感想や知りたい情報など、ご意見をお待ちしています。右の二次元コードからお寄せください。



心の花びら

甘酒の郷愁香るサロンの秋
(小林合歓の会 内田トシ子)

新米や苦労重ねて笑みこぼれ
(小林合歓の会 淵上律子)

そろそろ生きて楽しむ去年今年
(小林合歓の会 海蔵由喜子)

自販機で白湯買える世や去年今年
(からくに句会 中園直子)

初ひばり刈り田を舞いて山眠る(東脇哲郎)
師走成れば何故ゆえ亀が兎へと(長友正臣)
出来ることのお残りたりおだやかに
楽しむ日々の今日も過ぎゆく(佐枝記子)

会話なきどこもかしこも電子化が
とまどう吾に催促する(武ナミ子)

ハッシンコバヤシ info

ふるさと起業家・団体等支援事業補助金

ふるさと納税で資金調達 2プロジェクトが目標額達成

市では、ふるさと納税制度を活用した資金調達の機会を提供して、起業促進や地域活性化を図るため、ふるさと納税を活用して市が寄付金を募る「ガバメントクラウドファンディング(GCF)」を実施しています。今年度は市内高校生らで組織する「絆を結ぶ物語実行委員会」と飲食事業を展開する「天下一手羽先」の2つのプロジェクトが認定され、資金調達に挑戦。いずれも寄付目標額を達成しました。

■担当：地方創生課 (Tel 23-1148)



手羽先の味を競い合う「手羽先サミット」で複数回受賞し、「殿堂入り」の認定を受けた天下一手羽先は、揚げたての手羽先から揚げを急速冷凍し、食卓に届けるプロジェクトに挑戦。ふるさと納税の返礼品にも登録されます



「絆を結ぶ物語実行委員会」は、不登校やいじめ問題などの課題解決に向けたイベントを企画。
●イベント名称：こどもまんなかプロジェクト●期日：令和7年1月12日(日)●会場：TENAMUビル2階



小林の「よかところ」をハッシンしよう！
投稿写真から数点を広報紙で紹介♪

Instagram & 広報こばやし
#ハッシンコバヤシ



▲詳細はコチラ

「ハッシンしたい小林の魅力」を写した写真に「#ハッシンコバヤシ」のハッシュタグを付けて、Instagramに投稿しませんか。市内で撮影したものであれば、景色、日常風景なんでもOK。

@tomoko_yo119 さん



#三之宮峡 #九州の美しい自然

@47k121 さん



#紅葉 #岩瀬

@harupapa.photo さん



#紫金山アトラス彗星 #夷守岳

人のうごき(小林市の人口)

人口	41,047人	(-16、-871)
男	19,127人	(+11、-435)
女	21,920人	(-27、-436)
	19,100世帯	(+2、-68)

令和6年12月1日現在現住人口 (前月比、前年同月比)

現住人口：国勢調査人口(実際に居住している人口)をもとに、その後の転入・転出、出生・死亡などを増減して算出する人口。

火災・救急発生状況

種別	11月	累計	昨年
建物	0	9	-1
林野	0	1	-1
車両	0	1	+1
その他	0	13	+4
救急	152	2,073	-59

交通事故発生状況

種別	11月	累計	昨年
人身	8	105	-12
物損	82	863	+26
死者	1	3	+2
負傷者	10	125	-22
全国死者	2,376		(昨年同月比 -2)



初詣
日本神話の郷 **霧島岑神社**

小林市細野 (庚子) 4937 社務所 TEL 0984-23-0855
(細野中より南へ1.2km直進) 宮司携帯 090-3735-9954

和田クリニック
人工透析センター

超純水透析液を使用した質の高い透析治療
最新機種(全自動透析装置)を用いた安心・安全な透析
送迎応談・随時見学可

TEL 23-5653 / Fax 22-5142
〒886-0003 小林市堤 3727 番地 1
<http://wada-clinic.or.jp/> 和田クリニック

トラクター・重機 **見積り無料**
トラック・農機具 **どこでも**
古くても、壊れてても、不動車でも **かけつけます!**

どこよりも高く買い取る **ことを目指しています!!**

広報誌を見て、ご連絡下さった方へ粗品、
又は買取額 10%UP 致します。

TEL: 0986-77-9092
農機具高価買取専門店 古物商許可 第951040015111号
Avanti 携帯: 080-3375-9750
FAX: 0986-77-9092
<https://kaitorimiyazaki.jimdo.com>

株式会社 こさの印刷

小林市梅の天神下(山麓線)
TEL. (0984) 27-0050 (代)
FAX. (0984) 27-0051
E-mail: kzn.o@abelia.ocn.ne.jp

MYAUCHI (有) 宮内葬儀社
0120-24-2349
小林市細野 437 番地 4 (市役所前)
TEL 0984-22-2349
西町斎場・上町斎場・ラウム会館

Q-TEI 九州555インテリアグループ ●営業時間: 8時~17時30分
(有) やすかた畳ふすま店
小林店 〒886-0007 小林市真方 384-10
TEL **0984-22-4566**
FAX **0984-27-4566**
都城三股店 〒889-1914 三股町夢池字前ノ村 4178
TEL **0986-36-3820**
FAX **0986-36-8621**
通話料無料 (フリーダイヤル)
0120-18-4566
お電話下されば見積りに伺います(無料)

「大切な方とのお別れをお手伝いいたします」
「大小ご希望に応じたご葬儀をご提案いたします」

※ただいまプリエール会員(割引特典あり)募集中です。
詳しい内容はお近くの斎場または各支店でお尋ねください。

JA みやざき	プリエール小林
フリーダイヤル	☎ 0120-89-0983
プリエール小林 小林斎場	小林市水流迫 644-4 ☎ 23-1084
プリエール小林 野尻斎場	小林市野尻町東麓 1379-1 ☎ 44-0040
プリエール小林 高原斎場	高原町大字西麓 3243-1 ☎ 42-4400

広報こばやしでは、収入確保対策として有料広告を掲載しています。

広告内容は市が推奨するものではありません。掲載している広告の内容などへの問い合わせは、直接広告主へお願いします。